



イラスト：立石勝哉さん

発行責任者：小林 勉

編集委員：藤崎・下野・秋山

今年も平成三十年、しもふさ学園も二十周年 新たな気持ちで迎える新年会



夢の国から来た二人組とゆるキャラグランプリ一位のうなりくん(?)と記念写真

一月六日、しもふさフレンドリーパークにて毎年恒例の新年会が行われました。前日夜中まで降っていた雨も上がり、晴天に恵まれ、晴れ晴れとした気持ちで新年の挨拶を交わす事が出来ました。
今年も平成三十年。会場には各作業科で作った、干支をモチーフにした作品がずらりと並んでいます。年末の限られた時間の中でみんなが力を合わせて作った力作がそろっていました。飾り花でチーバ君とうなり君が作られていたり、まさに会場内は昨年の流行語大賞の「インスタ映え」尽くしでした。



色とりどりの飾り寿司。職人の技です。

中村さんの乾杯の挨拶と共に新しい新年会が始まりました。今年もテーブルにとってもきれいな飾り寿司が並びました。お花や犬のモチーフがかわいく食べたいのが惜しくも感じましたが、皆さん美味しく召し上がっていただけましたでしょうか？

年男、年女の紹介では、佐藤さん、川西さん、常松さん、外村さん、小池さん、細根さんの六名の利用者さんと、高橋信一さんのお母様、木村彰宏さんのお父様、土肥りさんのお父様の三名の親御さんが年男年女を迎えささやかですがお祝いをさせて頂きました。

外村さんは記念品のプレゼントの帽子を早速かぶり、「満悦な様子です。近くにいた職員も思わず笑顔がこぼれていました。



記念品のニット帽。とてもお似合いです。



中盤ではプロのマリンバ奏者の高橋沙紀様のコンサートです。利用者さんもマリンバの優しい音色と歌声をゆったりとした気持ちで聴いていました。

最後に全員で手を繋ぎ田になり「小さな世界」を歌いました。

二回目は「世界」のフレーズを「学園」に変え、皆で声を合わせて歌いました。

夢の国から来たミッキーとミニちゃんとうなりくん(?)も登場し会場が一体となり、最後に育成会会長の高橋様の三本締めで今年の新年会が開きとなりました。

今年も平成三十年。しもふさ学園も三十周年を迎えます。今年もハートアンドハートの精神を大切にしながら新しい事にチャレンジしたり、利用者さんと楽しい思い出を作っていきたいと思えます。今年もよろしくお願ひ致します。

年越し旅行 スパリゾートハワイアンズ

年越し旅行も六年目を迎え、今回の旅行では新たに外村さんが参加され、利用者さん九名、職員六名で「スパリゾートハワイアンズ」を中心に旅行に行ってきました。

一日目の昼食は「ちゃんこ鍋の店・横綱本店」であんこう鍋、お寿司、茶碗蒸しなど皆さん暖かい鍋を囲みながら、美味しく食べてくることが出来ました。

宿泊先のハワイアンズでは、楽しく年末を過ごそうと、沢山のお客さんと賑わっていました。ホテルに到着すると宴会までは自由行動の時間。和夫さん、伊坂さん、外村さん、石毛さんは室内プールに行き、流れるプール等に入り一時間ほど泳ぎ、川井さん、服部さんは、理事長と共にゆつくりと天然温泉を堪能してきました。思い思いに自由時間を楽しんだ後、お待ちかねの宴会。お刺身や炊き込みご飯、てんぷらなど和食を中心としてとても豪華なお料理を堪能。そのあと毎年恒例のポリネシアンショーを鑑賞しました。

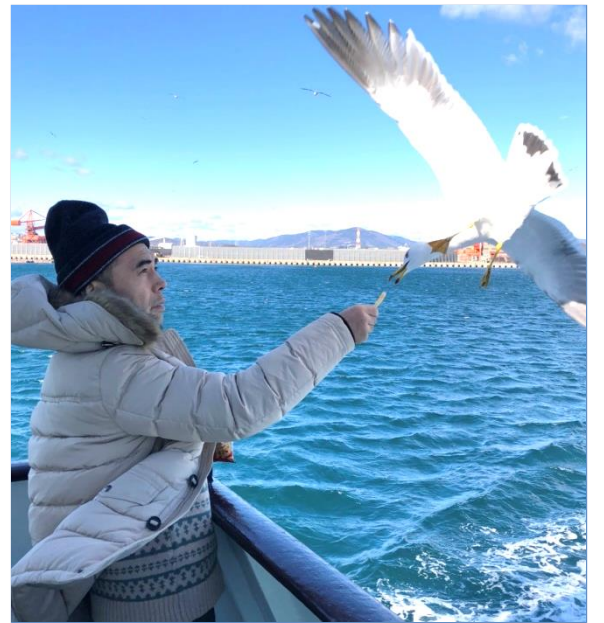
今年度は席を予約し、落ち着いてみる事が出来、ファイヤーダンスの炎が間近に迫り、暑さを感じる程の迫力や、踊る方の息遣いまで聞こえてきそうなフラダンスのショーを皆さん楽しませていました。



ダンサーと一緒に「アロハ〜」

ショーの終わりにはダンサーの方たちとステージ上で記念写真。例年にも増して楽しい一夜になりました。

二日目、元日の朝は、前日の曇天から一転、澄み渡るあおぞらに昇る初日の出を拝み、穏やかな新年を迎えることが出来ました。初詣は「白水阿弥陀堂」に行き、参拝し一年の健康を祈念。その後は「塩屋崎灯台」を車窓で見学し、小名浜観光遊覧船「いわきダイクルーズ」で小名浜湾の景色を楽しんできました。船上デッキでは、かっぱえびせんを購入し、遊覧船を待っていたとばかりに飛来するカモメに餌をあげる事ができました。菅澤さん、山岸さん、服部さん、そして職員も、次々にやってくるカモメに熱心に餌をあげているうちに、五分の遊覧時間でしたがあっという間に過ぎていきました。遊覧船の後は皆さん思い思いの昼食を召し上がり、この二日間の旅行も終わりの時間が近づいてきました。車に乗る岐路に着くと旅の疲れかウトウトする利用者さんもうらっしゃいました。新しい気持ちで迎えた平成三十年。この年越し旅行から始まり、楽しい一年を予感させるような旅行となりました。



あおぞら科日帰り旅行

気分は空の旅「航空博物館」

十二月二十六日、あおぞら科日帰り旅行にいったまいました。行先は「ふわり芝山空の駅」と「航空博物館」です。日頃の行いが良いようで、作業科の名前に恥じぬ雲一つない快晴の中、しもふさ学園を出発しました。

芝山空の駅でのランチバイキングは非常に人気があり、予約が出来ないので少し早めにお昼を食べようと早く向かいました。そして待ちに待ったバイキングです。女性陣がサラダから取っていく中、それを横目に男性陣は、パスタや揚げ物、ご飯にカレーと見事に取るものがわがれました。皆さんおいしそうに召し上がっていました。

次はメインイベントの航空博物館です。中にはジェット機のシートや展望台があり、ゆり香さんはにこやかにシートに触ったり、座ったりと楽しそうにされていました。展望台からは成田の景色が一望でき、天気もよかった為、空港から飛び立つ飛行機の迫力を存分に味わうことができました。外には多くの飛行機があり中に入ることでもでき、操縦席に座り眺めを楽しむことができました。

今回の旅行は十二月とは思えないほど暖かい陽気に恵まれ楽しい旅行となりました。いつの日か、一緒に飛行機での旅行ができたらなと思った旅行となりました。



空の旅に行ってきます。

編集後記

皆さん今年のお正月はどのように過ごされましたか。初詣に行かれた方、初売りに行かれた方、お家で箱根駅伝で熱狂された方、様々なお正月の過ごし方があると思います。御存じかと思いますが学園の近くには楽満寺というお寺があります。

楽満寺は、しもふさ七福神の一つで臨在宗（妙心寺派）のお寺です。本尊は安産子育ての如意輪観世音菩薩。源頼朝、実朝の母堂の守り本尊といわれています。

「中里の観音様」とも言われ、安産子育て祈願の寺として有名です。学園ではあおぞら科の歩行活動の休憩スポットとしてお馴染みの場所。ほっと一息つける場所です。

私事ですが来月出産を控えていますので一度楽満寺に安産祈願のお参りをしたいと思います。今月より産休を頂き、無事に出産し母になって、来年の春またこの紙面で報告できることを楽しみにしています。